

始良市立地適正化計画（素案）に対する意見募集の実施結果と市の考え方について

始良市立地適正化計画を策定するにあたり、始良市パブリックコメント実施要綱に基づき、案を公表し、広く市民の皆様の意見を伺うパブリックコメントを実施しました。

ここに、ご提出いただいたご意見とそれに対する市の考え方をとりまとめましたので、次のとおり公表します。

なお、ご提出いただいたご意見等は、趣旨を損なわない程度で要約させていただいております。

1 集計結果等

(1) 実施期間

平成31年1月7日（月）から2月6日（水）まで

(2) 提出方法、提出人数及び意見の数

提出方法	提出人数（人）	意見件数（件）
持参		
郵送		
ファックス		
電子メール	1	7
インターネット入力フォーム		
合計	1	7

2 意見等の概要と市の考え方

項番	計画(案)の該当項目等 (○◇・○行目)	意見等の概要	市の考え方
①	<p>P. 37 第1章 現状と将来見通しにおける都市構造上の課題 3. 将来見通し (人口推計) 3.1 始良市の将来人口推計</p>	<p>人口分析について、「3. 将来見通し (人口推計)」の中で、人口の枠組み (グルーピング) を、①0-14 歳、②15～64 歳、③65 歳以上という、従来の枠組みで整理されていますが、このような3つの分類では、計画立案のための分析データとしては、不足しているのではないかと考えます。</p> <p>20年後の始良市の人口構造イメージ、働き方のイメージを予測し、計画立案していくためには、</p> <p>①0～19 歳：経済的に支えられる人口 ②20～64 歳：税金を納め、社会保障費を支える人口 ③65～74 歳：前期高齢者といわれているが、多くの方がお元気で、労働力として参加してもらう人口 ④75～79：後期高齢者でも自立度の高い人材で、ボランティア等で活躍が、期待できる人口 ⑤80 歳以上：医療介護が多く、必要となり、死亡となる方も増える人口</p> <p>特に社会保障制度を維持していくための財源の視点からも、働く (支えていく) 人口と支えられる人口に分けていく必要があると考えます。</p>	<p>人口区分につきましては、人口データの出典元である国勢調査(総務省統計局)におきましても、本計画と同様の年齢3区分別人口による統計が行われており、本市の他計画や他都市の計画においても一般的に当該人口区分が使用されているため、比較分析などへの活用しやすさを考慮し当該人口区分としております。</p> <p>しかし、定年年齢の引き上げ等社会情勢の変化が考えられますので、本計画においても、そのような動向を鑑み、本計画見直しや5年毎に行う事業評価の際には年齢区分の検討をいたします。</p>

2 意見等の概要と市の考え方

項番	計画(案)の該当項目等 (○計・○行目)	意見等の概要	市の考え方
②	<p>P. 55 第2章 立地適正化計画におけるまちづくりの方針 (2)交通ネットワークに関する方針</p>	<p>利便性の向上や効率化と合わせて、利用しやすい運賃設定など交通弱者のニーズに対応した施策が必要だと考えます。これらの実現のためには自治体が交通に関するビジョンを持ち、導入に対してコミットすることが必要であると考えます。そのためには、超小型モビリティの普及促進のための支援など、様々な交通手段の導入や、それらとの連携を積極的に検討すべきであると考えます。</p>	<p>本計画の誘導施策は、都市構造上の課題解決のための施策であるため、主に生活に必要な都市機能や公共交通の維持、居住の誘導などが事業内容となっています。(P112)</p> <p>公共交通の利用の促進等に関しては、平成29年3月に「始良市公共交通網形成計画」を策定しており、その事業計画の中で「交通不便地域における新たな移動形態の導入及び現行運行形態の見直し」と「高齢者や体の不自由な方等に対するきめ細かな対応」を計画しております。</p> <p>(始良市公共交通網形成計画 P120、121)</p> <p>また、様々な交通手段の導入については、AIなど技術革新の動向も踏まえ検討してまいります。</p>

2 意見等の概要と市の考え方

項番	計画(案)の該当項目等 (○◇・○行目)	意見等の概要	市の考え方
⑤	<p>第 6 章 誘導施策の設定 114 ページ (2) 交通ネットワークに関する誘導施策</p>	<p>公共交通ネットワークを維持していくためには、利便性の向上だけでなく、ユーザーに対して利用の動機付けを行い、利用を促進していくことが必要であり、利便性の向上と利用の促進は両輪として推進していく必要があると考えます。現状、計画案においては後者の利用促進施策の視点が欠けているため、これを盛り込むことを提案します。</p> <p>例えば、高齢者に対して公共交通を利用しての外出を通じて、外出の機会を増やし、歩く機会を増やして、健康で健やかな生活をして頂くため、公共交通利用によるポイントの付与や、健康管理アプリの配付などの取り組みが考えられます。高齢者の外出機会として「通院」は多くの割合を占めていることもあり、また、健康管理は医療的な観点がプラスになることから、実現にあたっては、医療機関との連携が有効と考えます。</p>	<p>公共交通の利用の促進等に関しては、平成 29 年 3 月に「始良市公共交通網形成計画」を策定しており、その事業計画の中で「交通不便地域における新たな移動形態の導入及び現行運行形態の見直し」と「高齢者や体の不自由な方等に対するきめ細かな対応」「公共交通利用の理解促進に資する PR・周知活動」を計画しております。</p> <p>(始良市公共交通網形成計画 P120、121、122)</p> <p>現在の取組としては、公共交通の利用促進のために、公共交通の周知や利用者の意見・要望等の聴衆を目的とした座談会を平成 29 年度から市内各地で開催しております。</p> <p>また、高齢者の外出機会を増やすための取組として、平成 30 年度から高齢者保養券の利用内容を拡大しバス、タクシーでも利用を可能とし、デマンドタクシーについては、試験運行を実施し、その利用状況等により本格運行を一部で開始しています。</p> <p>今後も高齢者の外出機会の増加を図る施策の検討をしていきます。</p>

2 意見等の概要と市の考え方

項番	計画(案)の該当項目等 (○計・○行目)	意見等の概要	市の考え方
③	<p>P. 55 第2章 立地適正化計画におけるまちづくりの方針 (2)交通ネットワークに関する方針</p>	<p>JR 駅を起点としたまちづくりは理解できますが、すべての駅に一元的に都市機能誘導区域と居住誘導区域を設定することは最適なまちづくりとしては万全とは言い難く、現在の JR の利用者数の調査も必要であると考えます。</p> <p>都市機能誘導区域ごとに病院など7つの機能別施設を充足状況に応じて誘導するとありますが、そもそも設定された区域にそれらの施設の立地スペースがあるのでしょうか。松原地区には、温浴・フィットネス施設があり、8,000 人も人口が住んでいます。これらすでにある地域資源を活かすことが極めて実現可能な街づくりであると考え、そのためにもそれら地域を結び、人々の移動を促す交通ネットワークの整備で都市機能誘導区域や居住誘導区域すべてを満たすことが最重要課題であると考えます。これからの交通機関のあり方は、利便性の向上や効率化のみならず、様々な交通手段との連携により、高齢者など交通弱者のニーズにも対応した暮らしの足としての役割も求められるものであります。当計画案ではそれら利用促進施策の住民人口という背景に鑑みた具体性が乏しいため、これを盛り込むことを提案いたします。</p>	<p>JR の乗降客数に関しては、P18 に記載しております。また、JR 駅に関しては、市内だけでなく、市外にも移動できる広域的な公共交通であるため、既存駅の維持は重要と考えております。そのためには、駅周辺的生活環境を維持する必要があるため、都市機能と居住を誘導すべき区域として設定しました。</p> <p>立地スペースに関しましては今後の人口減少の進行に伴い空家・空地の増加が危惧されるところでありますので、本計画の低未利用地土地利用等指針に基づく空地の集約などにより、施設の誘導を図っていくこととしています。(P117)</p>

2 意見等の概要と市の考え方

項番	計画(案)の該当項目等 (○◇・○行目)	意見等の概要	市の考え方
④	86, 87 ページ 表 拠点毎の誘導施設	<p>帖佐駅の西方約 500m に位置する「サンピア始良跡地」では、内閣府の日本版 CCRC 構想有識者会議に「JOY タウン構想」に沿った開発が進められており、2017 年には旧サンピアの建物をリノベーションしてつくられた温浴・フィットネス施設がオープンしました。また、2022 年度には同跡地内に「加治木温泉病院」が新築移転する予定です。</p> <p>この事業は、今回の立地適正化計画における「都市中心拠点」である「始良市役所周辺」地区外ではあるが近接しており、「都市中心拠点」への都市機能の集積に貢献していると考えます。立地適正化計画と「JOY タウン構想」が協調して推進されるよう、同計画に「JOY タウン構想」を位置づけ、「始良市役所周辺」と「サンピア始良跡地」との間を結ぶ輸送機関や歩行空間の整備改善を計画課題に盛り込むことを提案します。</p>	<p>都市機能誘導区域は、複数の都市機能が集積し公共交通によるアクセスが容易なエリアに設定するために P73 の条件に基づき設定しております。</p> <p>病院などの都市機能は継続的に維持していく必要がありますので、周辺に設定した居住誘導区域への居住促進や公共交通の利便性を高めるなど、交通施策との整合を図りつつ、「JOY タウン構想」の進捗状況等を考慮し本計画の見直しにおいて、施策導入の検討を行いたいと考えます。</p> <p>また、現在、松原地区の輸送手段としてコミュニティバスの運行について検討しています。</p>

2 意見等の概要と市の考え方

項番	計画(案)の該当項目等 (○◇・○行目)	意見等の概要	市の考え方
⑥	<p>第 6 章 誘導施策の設定 114 ページ (2) 交通ネットワークに関する誘導施策</p>	<p>拠点へのアクセス利便性は、現状の路線バスやコミュニティバスの運行頻度で十分確保されているとは言えない現状があります。</p> <p>しかしながら、路線バスやコミュニティバスの運行頻度を上げることは容易ではありません。</p> <p>そこで、デマンドタクシーやコミュニティ輸送による補完が必要であると考えます。デマンドタクシーやコミュニティ輸送を交通空白地域だけでなく拠点間アクセスなど、より幅広い活用を計画に位置付けることを提案します。</p> <p>そのために、市民をはじめ医療・福祉事業者など様々な団体がコミュニティ輸送を手掛けやすくすることを目標とすることを提案します。</p>	<p>現在、デマンドタクシーについては、試験的に実施し、その利用状況等により本格運行を開始しています。</p> <p>今後、拠点間のアクセス等範囲を広げる事については、公共交通の関する主計画である「始良市公共交通網形成計画」との整合を図りながら、検討を行いたいと考えております。</p>

2 意見等の概要と市の考え方

項番	計画(案)の該当項目等 (○◇・○行目)	意見等の概要	市の考え方
⑦	P.115 第6章 誘導施策の設定 (3)生活サービスに関する誘導 施策	<p>生活サービスに関する誘導施策で、都市機能の立地の促進によるまちの活性化として、空き店舗活用と特定創業支援の記述がみられますが、他に企業の誘致を積極的に推進することも必要ではないでしょうか。</p> <p>例えば、先進的な取り組みを当地でも活用して、地域の活性化に繋がらないでしょうか。</p> <p>① ソフトバンク×トヨタの自動運転の研究 (MaaS) を始良市に誘致する</p> <p>② 福岡市が提案している電気キックボード特区などを始良市でも検討する。</p> <p>そうすることが、地域経済を活性化し雇用機会を創出することになり、これに合わせて経済的援助も含めた子育て支援をこれまで以上に進めていくことで、若者や子育て世代の移住・定住につながり、持続可能で魅力的なまちに進化していくと考えます。</p>	<p>本計画の誘導施策は、都市構造上の課題解決のための施策であるため、主に生活に必要な都市機能や公共交通の維持、居住の誘導などが事業内容となっています。(P112)</p> <p>また、雇用機会の創出に関しては、「第2次始良市総合計画」、「始良市総合戦略」などにより方針を定め、地方創生に取り組んでいきます。</p>